

## 第四章 横断的施策

## 1. 横断的施策とは

横断的施策とは、生涯学習・スポーツ・文化芸術・観光・国際交流の5つの分野に共通するテーマや課題です。これらは、各分野で個別に事業を行う場合でも、共通の考え方や方向性をもって取り組むことが、本計画を推進していく上で大切です。また、分野間での連携した取組も横断的施策に該当します。

本計画では、「環境形成」「人づくり」「つながりの構築」「価値の協創」という4つの共通目標に照らし、横断的施策として、「情報の収集・共有・発信」「人材育成」という2つの課題に加え、この5年間に於いて社会的なインパクトをもたらすであろう東京オリンピック・パラリンピックを掲げます。

なお、今後の区内外的情勢に合わせ、横断的施策として共通の考え方による取組が新たに生じた場合についても、柔軟に対応します。

## 2. 情報の収集・共有・発信

前回のアカデミー推進計画においても、事業や活動のための情報を、適切なメディアでわかりやすく伝えることは重視されてきました。ただ、過去5年間に於いて、情報環境・メディア環境は変化しています。なかでも、スマートフォンの普及、それと並行したSNSの登場が特筆されます。これらサービスの登場とともに、情報の発信者が多層化し、相互に情報が共有されることで情報が拡散されるような網目が形成されています。そして、今後もこのような変化は起こるものだと考えられます。

そこで、広報紙やチラシ、ポスター等を用いた従来の情報発信も継続させつつ、適宜変化する情報環境・メディア環境をとらえ、効果的な情報発信のために適切なメディア活用を図ります。

一方、情報発信のためには、情報の収集が欠かせません。本区がすでに把握している様々な資源のほか、区内に潜在する人・団体・活動・場所等、本計画の理念・目的に沿ったあらゆる資源を収集し、それらを区内ならびに区民と共有することを図ります。

### ■情報の収集・共有・発信に関連する事業

| 事業名                | 概要  | 分野                     |
|--------------------|---|------------------------|
| 区報、生活情報誌等による情報発信   | 区報ぶんきょうや、わたしの便利帳による生涯学習、スポーツ、文化芸術、観光、国際交流関連情報を提供します。    | 生涯学習・スポーツ・文化芸術・観光・国際交流 |
| ホームページ・SNS等による情報発信 | 区や指定管理者のホームページ・SNS等により生涯学習、スポーツ、文化芸術、観光、国際交流関連情報を発信します。 | 生涯学習・スポーツ・文化芸術・観光・国際交流 |
| CATVによる情報提供        | CATVを通して生涯学習、スポーツ、文化芸術、観光、国際交流関連情報を提供します。               | 生涯学習・スポーツ・文化芸術・観光・国際交流 |

## ■今後実施を検討する事業

- ▶ 公衆無線LAN (Wi-Fi) 環境整備 **ス** **観**
- ▶ 新たなSNSの活用も視野に入れた情報発信の充実 **観**
- ▶ 隣接区と提携した文化資源マップの製作 **芸** **観**
- ▶ 文京区の新たなブランドイメージの構築 **観**
- ▶ 隣接区と提携した事業内容の発信 **観**
- ▶ CATV、大学等と連動した「(仮称)文京まちあるき」の番組化 **芸** **観**
- ▶ シティプロモーション事業の拡充 **観**

### 3. 協働する人材の育成

アカデミー推進計画を着実に実現していくためには、区のみならず、区民や地域活動団体、NPO、大学、事業者等との連携を図り、それぞれの強みを活かしながら取り組む必要があります。前回の計画においても、本区の「『文の京』自治基本条例」\*の掲げられた「協働・協治」に基づく連携の必要性が示されていました。その後、東日本大震災や「新たな公共の担い手」専門家会議\*\*等を経て、公共性が見直されるなか、区民との協働をめぐる状況も変化してきました。






これを機として、「協働・協治」の理念に基づき、学びと交流という活動から、人と人とのつながりを生み出し、コミュニティへと展開するという段階を経ながら、徐々に他者や地域に関わるようにうながし、協働する人づくりを進めます。

その際、これまでのインタープリターや生涯学習司、スポーツ指導者、観光ボランティアガイド等の人材制度を継続的に運用しつつ、東京オリンピック・パラリンピックをきっかけとして、多言語対応や障害者対応等を推進することを検討します。

#### ■協働する人材の育成に関連する事業

| 事業名                          | 概要  | 分野        |
|------------------------------|---|-----------|
| 人材育成のための講座                   | 区・公益財団等と協働して事業を行う人材を育成するため、文の京生涯学習司、文の京地域文化インタープリター、文京アカデミアサポーターの3つの養成講座を実施します。               | 生涯学習・文化芸術 |
| スポーツ指導者の育成                   | スポーツ指導者の資質向上を図るため、スポーツ推進委員、スポーツリーダー、スポーツ交流ひろばの指導員等を対象に各種研修会を実施します。                            | スポーツ      |
| スポーツボランティアの養成                | 地域の生涯スポーツ・レクリエーションの振興を推進するため、支えるスポーツの担い手として、スポーツボランティアを登録・養成・派遣します。                           | スポーツ      |
| 文京ふるさと歴史館友の会の支援              | 文京ふるさと歴史館友の会の自主的な活動を支援し、地域の現状や歴史・文化を知るための学習機会の充実を図ります。協働による事業の実施や「文京まち案内」ボランティアガイドの活動支援を行います。 | 文化芸術      |
| 文京ふるさと歴史館常設展示・森鷗外記念館解説ボランティア | 解説ボランティアを養成し、来館者への案内を行うことにより、文京区の歴史・文化の普及を図ります。ガイドのスキルアップを支援します。                              | 文化芸術      |
| 観光ボランティアガイド事業                | 区民を中心としたボランティアの観光ガイドを育成し、まちあるきコースの開発と、案内を行います。  | 観光        |
| 英語観光ボランティア事業                 | 文京区内の庭園、寺社、文化施設等を英語観光ボランティアガイドが外国人の方に英語で案内をして、区の歴史や魅力を紹介します。                                  | 観光・国際交流   |

## ■今後実施を検討する事業

- ▶ コミュニティづくり・地域づくりのワークショップ 
- ▶ スポーツボランティアの拡充 
- ▶ オリンピック・パラリンピック大会に向けた多様なボランティアの育成   

## 4. 東京オリンピック・パラリンピック

平成32(2020)年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向けて、国や東京都はそれぞれに戦略を打ち出し、東京の将来像が様々に描かれています。文京区においても、今後5年間、開催都市の一員として気運醸成を図り大会を成功に導くための取組を推進するため、平成27年2月に「文京区2020年東京オリンピック・パラリンピック取組基本方針」を策定しました。

東京オリンピック・パラリンピックは、スポーツはもとより文化芸術、観光、国際交流に及んでおり、区民協働という観点では生涯学習も含んでおり、アカデミー推進計画と関係が深いものです。また、東京オリンピック・パラリンピックを契機に、本区の様々な魅力が外国人観光客を呼び寄せることも考えられます。

そこで本計画では、「取組基本方針」を踏まえながら、計画本来の基本理念や共通目標にかなった、将来にわたる「レガシー(有益な遺産)」を残すことを特に重視していきます。東京オリンピック・パラリンピックを「きっかけ」のひとつとしてとらえ、本計画、ひいては生涯学習推進基本構想から約20年にわたって、区ならびに区民が蓄積してきた価値を活かし、新たな資源、新たな価値を得るための事業を、これまでと変わらず推進していきます。さらに、そこで生まれる新たな資源、新たな価値を、次のアカデミー推進計画へとつなげていきます。

| 分野   | 関連すると考えられるレガシー   |
|------|--|
| 生涯学習 | ・ボランティア意欲の向上、参加者の増加<br>・心のバリアフリーの向上                                |
| スポーツ | ・運動やスポーツの実施や観戦への動機づけ<br>・パラリンピックを通じた障害者スポーツの普及・促進<br>・スポーツ施設の整備・拡充 |
| 文化芸術 | ・日本の伝統文化や食文化への理解の推進<br>・文化プログラムを通じた文化芸術への関心の喚起                     |
| 観光   | ・国内外からの観光客の増加<br>・外国人にやさしいまちづくりの推進<br>・観光ボランティアの育成と活躍の機会の拡大        |
| 国際交流 | ・国際交流の活性化と国際理解の深まり<br>・多言語化の推進<br>・海外や異文化への関心の喚起                   |

## ■東京オリンピック・パラリンピックに関連する事業

| 事業名            | 概要   | 分野      |
|----------------|--|---------|
| ジュニア・アスリート育成事業 | 区内大学及びプロスポーツ等団体との協働により、ジュニア選手を発掘、育成、強化し、スポーツ活動を通じて、心身の健全な育成とジュニアスポーツの振興を図ります。  | スポーツ    |
| 障害者スポーツ体験教室    | 障害のある方が気軽にスポーツ活動に参加できる機会とし、様々な障害者スポーツの種目を体験できる教室を開催します。  | スポーツ    |
| スポーツボランティアの養成  | 地域の生涯スポーツ・レクリエーションの振興を推進するため、支えるスポーツの担い手として、スポーツボランティアを登録・養成・派遣します。  | スポーツ    |
| 文の京文化発信プロジェクト  | 文京区らしさを活かした芸術文化の創造・発信と、事業を通じた交流を目的として実施しているプロジェクト。演劇、音楽、伝統芸能、美術等、様々な分野のイベントを対象としており、全国規模の芸術文化団体や、全国の自治体との協働(共催)により、特色を活かした創造的な活動とその成果の発信を通じて、文の京・文京を広くアピールします。 | 文化芸術    |
| 外国人おもてなし隊育成事業  | 東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据え、文京区を訪れる外国人が安心して観光等できるよう、英会話初心者を対象に、語学ボランティア育成事業を実施します。   | 観光・国際交流 |
| わかりやすいまちの表示    | 案内標識やコミュニティバス「Bーぐる」、区有施設における多言語表記を進めます。  | 観光・国際交流 |

## ■今後実施を検討する事業

- ▶ パラリンピック気運醸成事業の開催 **ス**
- ▶ オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムの実施 **芸**
- ▶ 飲食店等のメニュー多言語化及びハラル対応 **観 国**
- ▶ 隣接区と提携した文化資源マップの製作 **芸 観 再掲**
- ▶ 公衆無線LAN (Wi-Fi) 環境整備 **ス 観 再掲**
- ▶ オリンピック・パラリンピック大会に向けた多様なボランティアの育成

**ス 観 国 再掲**

